

# オンライン1級論述試験 (形式変更対応) 一夜漬け10点アップ講座

90分集中講座

試験実施団体より、1級実技(論述)試験の出題形式の変更の告知がありました。

①	2023年12月5日(火)	20:00~21:30 (90分集中講座) 設問内容が事例相談者の面接技法上の問題解決を中心とするコース	受講料 (税込)	会員:12,000円 一般:15,000円
②	2023年12月8日(金)	20:00~21:30 (90分集中講座) 設問内容が事例相談者のスキルの是正と相談者Aさんの問題解決も併用するコース	受講料 (税込)	会員:12,000円 一般:15,000円

お申込みいただきましたら、教材・データと招待URLをお送りいたします。

内容	1級論述試験の出題形式の変更 ① 1ケースの事例記録を読み、設問について記述式で解答 ②試験時間も80分に変更 出題範囲及び合格基準の変更はない	
	※論述試験のポイントを90分でまとめた講座 第13回試験では、「出題形式」が変更され、試験時間も短くなると告知されましたが、この講座はそれを踏まえ、論述試験の得点を前回より10点アップを目指します。 講座では、まず、論述試験は「実技試験」であることから、ケースをどのように読み取り、「問題(設問)」にどうアプローチすれば解答を導くことができるかを考えます。そのうえで、論述試験の考え方の基本である「答案構成」を行い、解答の要素をどのような順番で、どう表現すると試験官から高得点を得られるかをお伝えします。	
	講座の中では、「論述試験」の解答における基本的考え方を示したうえで、当会が出題を予想する設問の内容にどのようにアプローチし、解答用紙に、何を、どのような順番で、どのように書いていくかをお伝えし、解答での表現を確認していただきます。	
	<p><b>【従来の出題によるアドバイス】</b></p> <p><b>問1</b>「この相談者について、どのような問題があるか、あなたの考えをその根拠を含めて記述せよ。」(旧:必須問題問1) ⇒解答用紙に、相談者の発言の中からキャリア上の「問題」を見つけだして記述します。しかし、多くの解答には、問題以外の、相談者の置かれている状況などが書かれており、それは、「問題」ではないため、記述しても点数にならないのです。</p> <p><b>問2</b>「この事例相談者の相談者への対応について、どのような問題があるか、あなたの考えを記述せよ。」(旧:必須問題問2) ⇒専門職としての視点で、事例相談者が気付いていない事例相談者の面接技法上の問題を専門用語で記述する必要があります。 この2点を意識して解答しただけで、点数にならない「文章」が削除され、加点される文章に書き替えることができます。</p>	
<p><b>■受講することで、理解し身につく内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題へのアプローチ法と、各設問で何を問われているのか、それに対して何をどう書くと合格答案になるかのイメージを掴みます。</li> <li>・「解答への指針」で各設問に対する合格答案の考え方を理解し、記述する内容やキーワードを学びます。</li> <li>・ご質問にはなんでもお応えしますので、講座の中で、日頃の疑問点を解決してください。</li> </ul>		

